

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本学術振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札・最低価格落札方式	
契約金額	7,323,573円	
仕様書配布者数	6者(H30:4者、H29:9者、H28:8者)	
契約の件名及び数量	日本学術振興会特別研究員の審査に係る資料出力及び製本作業等 請負一式	
契約締結日	平成31年4月15日	
契約の相手方の商号又は名称等	ブルーホップ株式会社	
入札経緯及び結果	平成31年2月25日 入札公告 平成31年3月5日 入札説明会 平成31年3月19日 提案書提出期限 平成31年4月15日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業者で印刷する一部の資料については、本会から業者への受け渡しデータをエクセルからPDFに変更することにより、業者側の負担軽減をはかった。
②業務等準備期間の十分な確保	×	-
③公告期間の見直し	○	公告日から提案書受領期限まで20日以上を確保した。また、応札者が一者となった場合には、公告期間の延長又は仕様書の見直し等による調達のやり直しを行う可能性がある旨を、入札説明書に明記した。(スケジュール等の都合上、結果的には調達のやり直しは実施していない。)
④公告周知方法の改善	○	入札公告を本会HPに掲載するとともに、文部科学省のHP上にリンクを設置している。
⑤電子入札システムの導入	×	-
⑥業者等からの聴き取り	○	応札を辞退した業者に理由等を聴取した。
⑦競争参加資格の拡大	×	-
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>本契約は、特別研究員事業の審査に係る資料出力及び製本等の作業を行う業務であり、平成29年度から3年連続の一者応札となった。(平成28年度は2者(うち1者は提案書提出後辞退、平成27年度は3者応札であったが、本業務の外注を開始した平成27年度より同社が落札している。)</p> <p>応札しなかった業者にヒアリングを実施した結果、本件は作業規模的に大企業で対応するには小さいが、中小企業で対応するには納品までのスケジュールがタイトかつ業務量が多いため、複数種類の資料を出力、製本し、仕分けをした上で発送するという一連の複雑な業務フローや、申請、審査情報等の取扱注意情報の管理体制などについて、そのノウハウを確立させた同社が後年も有利になるという状況が確認された。</p> <p>今後、同様な調達が見込まれる場合には、引き続き一般競争入札を行うこととするが、公告を幅広く周知すると共に業務等準備期間の延長等、仕様書等の工夫を引き続き検討する。また、一者応札となる場合には公告期間の延長等が可能となるよう、可能な範囲で早めに調達を開始する等の改善を検討する。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>業務等準備期間の延長等、取組としては妥当であり、タイトなスケジュールで実施する必要があることを考慮するとノウハウを有する業者の一者応札は想定内とも言えるが、業務の分断や複数年契約等の検討を含め、引き続き、改善を検討されたい。</p> <p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>業務の分断や複数年契約について、その実施可能性を担当課に再確認しつつ、公告の幅広い周知や業務等準備期間の延長等について引き続き検討する。また、一者応札となる場合には公告期間の延長等が可能となるよう、可能な範囲で早めに調達を開始する等の改善を検討する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小長谷 有紀、西島 和三、小島 昇、清水 光、洞田 慎一		